

大学教職員のための留学生受入実践:最初の1ヶ月

■講師

バージン・ルース (愛媛大学 国際連携推進機構 国際連携企画室 特命教授)

University of Puget Sound, Tacoma, Washington, USA 卒業。1996 年より愛媛大学農学部留学生担当講師となる。2002 年に愛媛大学留学生センターに異動し、全学の留学生生活支援を担当すると同時に、日本人学生の海外派遣プログラムの開発・支援にも携わる。専門は異文化コミュニケーション。

高橋 志野 (愛媛大学 国際連携推進機構 国際教育支援センター 准教授)

Asian Studies, University of British Columbia, Canada の M.A. 修了。2002 年より愛媛大学留学生センターで、留学生への日本語教育、日本語教員養成教育に取り組むと同時に、留学生日本語ボランティア J-support システムの運営に携わる。専門は言語学・外国人に対する日本語教育。

■プログラム概要

外国人留学生にとって「安心できる受入体制」とは、どのようなものでしょうか。各教育機関で実施してきた「過去の留学生数・国籍に基づいた」取り組みは、最近の外国人留学生受入数の増加・多様化に伴い限界に近づいてきており、多くの機関で新たな受入体制の構築が求められているのではないのでしょうか。特に、オリエンテーションをはじめとした最初の1ヶ月の受入体制がどれだけ適切かは、非常に重要となってきています。

本プログラムでは、愛媛大学の実践を紹介しつつ、留学生受入最初の1ヶ月に実施するオリエンテーション等での必須項目を確認していきます。参加者全員で自分達の実践事例（失敗談や現在進行中の事例も大歓迎です）を積極的に共有することで、それぞれの教育機関にとって効率的で有効な「留学生受入オリエンテーション」が可能になることを期待しています。

■主な受講対象

学内の国際交流に関わる立場、または国際交流に関わる業務に関心のある教職員

■本プログラムの到達目標

1. 留学生受入のオリエンテーションがなぜ必要か説明できる。
2. 留学生受入オリエンテーションに必要な基本情報は何か説明できる。
3. 自分の所属機関にふさわしいオリエンテーションを設計できる。

■日時・場所

日時：平成30年8月31日（金）13:00～15:00

場所：香川大学幸町北キャンパス